

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



人は、誰もが「多重人格」 誰も語らなかった「才能開花の技法」 / 田坂 広志 (著) ¥821-

-Amazonより内容紹介-

人は、誰もが、心の中に「幾つもの人格」を持った「多重人格」です。しかし、通常は、仕事や生活の状況や場面に合わせて、その「多重人格」の中から、ある人格を選び、働き、生活しています。しかし、自分の中に隠れている「幾つもの人格」に気がつき、それらに光を当て、意識的に育て、状況や場面に応じて適切な人格で処することを覚えるならば、自然に「幾つもの才能」が開花していきます。

◎あなたの仮面はいくつ?!

なんともタイトルの怪しい本ですが（笑）、僕がここ最近読んだ本の中では最上級のもので！まあ著者が有名な田坂さんですから、ハズレは少ないですけどね。田坂さんの本は真面目で、しっかり芯のある事が書いてあるので、読むと背筋がピンツ！と伸びます。また、声を聴いたことがある人は分かると思いますが、あのゆったりとした語りから、たまに情熱あふれる熱い語りになるのが人の心を打ちますね！！

さて、この本です。「多重人格」というキャッチが不気味ですが、これは皆さんも想像してみると分かります。**自分は、会社の“社長”であると同時に、子供の“父親”であり、妻の“配偶者”である。また、自分の親からみれば、自分は“子供”であり、兄弟からみれば“長男”であるように、同じ自分でもいろんな役割を演じています。**振り返ってみると分かりますが、社長のときと、配偶者であるときの自分の行動や立ち振舞、意見などは全く違うという人は多いのではないのでしょうか？！

この多重人格で大事なのは、「自己限定」と言われています。**自己限定とは、「自分には才能がない」「自分には〇〇ができない」という、自分の脳力と可能性を限定してしまう深層意識です。**簡単に言うと、自分に自信が無いということです。

多重人格とどう関係しているかということ、「私は喋るのが苦手な自分である」と、自己限定していると、その現実が向こうからやってきます（笑）。そして人の前で話す機会があっても、自分の中でそう思って自己限定していると、全く喋ることができず、パツとしない結果になります。その現実、自分が引き寄せているのです。だから自己限定ほど、自分の才能の開花をとめているものはありませんので、多重人格を意識して、何でもできる人格を形成しておく必要があるんです。

だから、役者さんとか良いですよー。役を演じることで、いろんな人格を自分の中に作り出せます。そうすることにより、**自分で思っていた“自分ではない自分”が顔を出し、新しい自分（人格）を手に入れる事ができるのです！**

人は誰の中にもすべての人格が潜んでいるようです。「明るい自分なんて存在しないぞ！」という人もいるかも知れませんが、そんなことはありません。田坂さんは言っています。**現在の自分の人格を変えようとせず、新たな人格を自分の中に「育てる」ことが大事だと(^_^)**